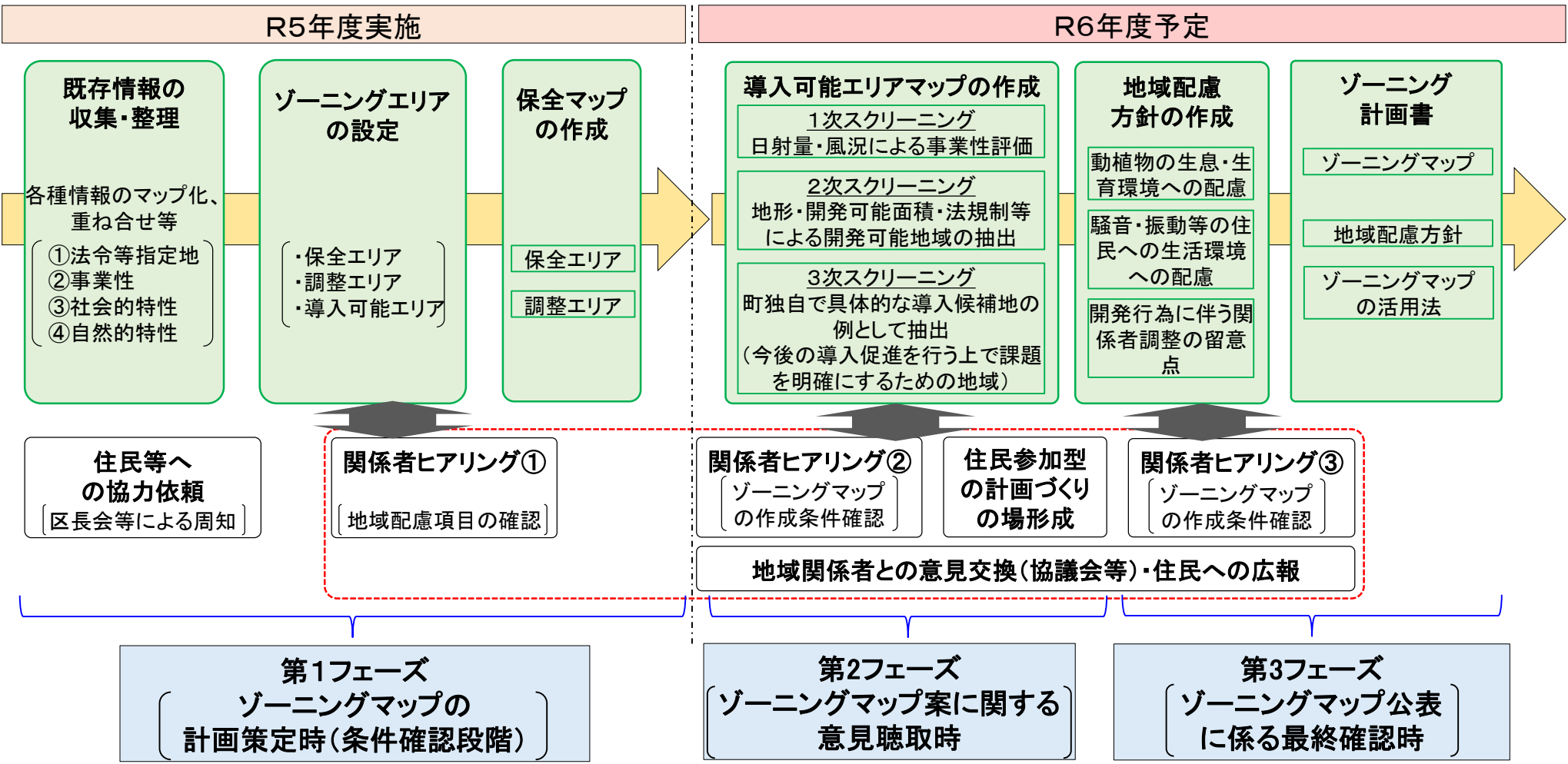


5. 意見聴取

5. 意見聴取

意見聴取の流れ

- ゾーニング計画を行う際の検討項目や環境配慮条件等を把握するため、地域関係者及び有識者にヒアリングを行いました。
- ヒアリングにあたっては、3つの計画フェーズにて行い、考え方のすり合わせを適宜行っています。



5. 意見聴取

ヒアリングを実施した地域関係者

区分	関係者	ヒアリング事項	ヒアリング実施実績			
			第1フェーズ	第2フェーズ	第3フェーズ	
環境省	国立公園管理者 環境省 奄美群島 国立公園管理事務所	奄美群島国立公園に係る環境配慮事項等	R4.11.24	－	R5.11.22	－
防衛省	航空自衛隊 沖永良部島分屯基地	再エネ導入に伴う防衛施設等への影響確認		R5.6.21	－	－
鹿児島県	環境林務部環境林務課	促進区域設定に関する鹿児島県基準に関する協議	－	R5.6.22	R5.11.21	R6.9.11
	商工労働水産部 エネルギー対策課	景観ガイドライン等に関する計画整合確認	－	R5.6.22	R5.11.21	－
和泊町	土木課	都市計画区域等に関する確認 空港制限範囲に関する確認	R5.11.22	－	R6.9.24	－
	教育委員会(文化財管理担当)	文化財等に関する確認	R5.11.22	－	－	－
	教育委員会(学校教育担当)	若い世代からの地域保全意見抽出について	R6.6.21	－	R6.9.24	－
	農業委員会	農業地域等に関する確認	R5.11.22	－	R6.9.24	－
	耕地課	ため池の利活用・土地改良事業などについて	－	－	R6.9.24	－
	経済課(森林管理担当)	森林地域の取り扱い方針に関する確認	－	－	R6.9.24	－
	経済課(営農型太陽光導入担当)	営農型太陽光試験導入に関する今後の方針確認	－	－	R6.9.24	－
	和泊町歴史民俗資料館	地域歴史財産等の意見聴取	R5.8.21	－	－	－
民間	おきのえらぶ島観光協会	観光分野における地域連携等のヒアリング	－	R5.6.22	R6.9.24	－
その他団体	エコツーリズム推進協議会奄美群島広域事務組合	奄美群島エコツーリズム推進全体構想等との計画確認	R5.1.5		－	－
	沖永良部土地改良区 (鹿児島県土地改良事業団体連合会)	沖永良部土地改良事業に関する意見聴取	R5.2.6	－	－	－
エネルギー関係者	九州電力送配電 鹿児島支店	系統電源接続の空き容量や再エネ設備導入時の留意点	－	－	R5.12.14	－
	えらぶゆり電力	脱炭素促進事業に関する連携可能性の確認	－	－	R6.11.22	－
有識者・専門家	植物・鳥類専門家 新納忠人先生	希少動植物の分布状況(文献資料等の確認)	R4.10.20	R5.5.24	R5.12.22	－
	鳥類・両爬虫専門家 環境カウンセラー 鮫島正道先生	鳥類等の環境配慮事項及びため池における渡り鳥調査	R5.1.17	R5.5.19	R6.1.10	－
	昆虫・底生動物専門家 宗武彦先生 ※ゾーニング協議会委員長	希少動物の分布状況 ゾーニングマップ作成案について	R5.2.9	R5.5.24	R5.12.22	R6.11.18
	鳥類専門家 前田修一先生	ため池における鳥類調査	R6.1.29	R6.9.24(現地)	－	－

R5年度： 10回実施

R6年度： 12回実施(別途ゾーニング協議会で意見聴取)

和泊町ゾーニング協議会 委員

知名町ゾーニング事業にてヒアリング実施

5. 意見聴取

ゾーニング協議会

➤ 再生可能エネルギー発電(太陽光・風力)に係るゾーニングについて、多様な関係者から意見を聴取し、本計画に反映させるためにゾーニング協議会を開催しました。

回数	実施日	主な議題
第1回	R6.6.17	(1) 沖永良部島における脱炭素の取組について (2) 再生可能エネルギーの導入促進に向けたゾーニングの取組について (3) ゾーニングマップの作成方針について
第2回	R6.11.28	(1) ゾーニングマップ(案)について (2) 促進区域の設定について

協議会委員	
専門家(3名)	植物専門家・鳥類専門家・昆虫専門家
行政関係者(4名)	自然環境保全担当(企画課)・森林管理担当(経済課)
	農地管理担当(農業委員会)・文化財管理担当(教育委員会事務局)
民間事業者(1名)	エネルギー事業者(えらぶゆり電力)
地域住民(1名)	区長会代表(後蘭字区長)

実施結果(協議会時の主な意見)

- (環境保全に関する意見)
 - ・森林域(水源かん養等)の保全、水上型太陽光における生態系(魚類、底生生物、鳥類等)の保全
- (再エネ導入に関する意見)
 - ・営農型太陽光について、農地利用(一時転用等)に関する課題、作付作物の種類等の調整を踏まえて導入範囲や促進区域を決定
 - ・陸上風力発電について、計画等に当たってはタラソおきのえらぶの実績を有効活用



▲ 第1回ゾーニング協議会 実施状況(R6.6.17)



▲ 第2回ゾーニング協議会 実施状況(R6.11.28)

5. 意見聴取

地域住民への意見聴取(地域住民の計画参加の場の形成)

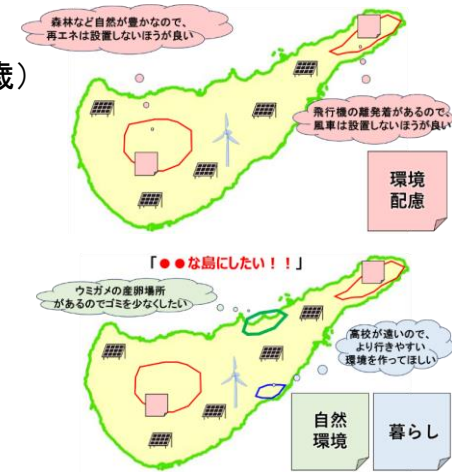
- カーボンニュートラルの実現のためには、地域の方々の協力が不可欠であり、地域住民の意見を踏まえてより良い計画とするために、ワークショップを企画しました。
- 本計画が2050年の長期的な計画のため、将来世代を担う中学生を対象に『島の目指すべき将来像(残りたい島にするためには等)』や『地域の自然や住まい方等に関する魅力(保全対象)』等の意見を聴取しました。

◆対象者 : 城ヶ丘中学校 全学年(13歳～15歳) 36名(全校生徒)
※10年後に担い手世代となる人材(新卒の社会人年齢22歳～24歳)

◆日時: 11月19日(火) 13:45～14:35(5時限目)

◆開催場所: 城ヶ丘中学校ふれあいホール
▼実施結果

環境配慮 ※再生可能エネルギー導入の際に留意してほしい旨の意見	●地域住民の生活に関する配慮 ・騒音に対する意見(学校や住宅地への影響) ・反射光(道路や住宅地への影響) ●地域資源に関する配慮 ・観光資源となりうる地点の景観等の保全(笠石海浜公園等)
自然環境 ※将来の島発展のために、自然環境として目指すべき方針に対する意見	・海域環境の保全(フーチャ、ワンジョイビーチ、ウミガメの産卵地等) ・緑地域の保全(大山、越山) ・ごみの削減(海域、観光資源周辺)
暮らし ※将来の島発展のために、島内の生活を豊かにするために目指すべき方針に対する意見	・安全性の確保(街灯の整備) ・交通利便性の向上(通学バス、バス運行台数の増加等) ・産業の充実(商業、農業等) ・運動施設の充実



5. 意見聴取

地域住民への意見聴取(住民アンケート調査) 1/3

➤ 本計画において、地域住民の方々に幅広く意見を頂くために広報資料を作成し、町のホームページや町公式LINEにて公表し、合わせてアンケート調査を実施しました。

和泊町における再生可能エネルギー導入に関するゾーニングマップ(案)を作成しました

和泊町は、令和4年1月に2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「和泊町ゼロカーボン宣言」を行いました。また令和4年4月に隣町の知名町とともに環境省脱炭素先行地域に選定され、再生可能エネルギーの導入など、脱炭素実現に向けた取り組みを進めています。

今後の再生可能エネルギー導入にあたり、地域の環境保全や経済・社会の持続的発展を同時に目指す必要があるため、『再生可能エネルギー導入推進に向けたゾーニングマップ(案)』を作成しました。

今後は住民の皆様や関係事業者の方々と意見交換をさせて頂きながら、再生可能エネルギーの導入に向けた取り組みを推進していきたいと考えております。

再生可能エネルギーのゾーニングとは
再生可能エネルギーを無作為に整備してしまうと・・・

ゾーニングマップ=地域の保全や再生エネルギー導入に関する色分け

調整エリア 保全エリア 調整エリア 導入可能エリア 調整エリア

再生可能エネルギーを導入する際の環境負荷を限りなく最小化し、地球温暖化対策を推進

太陽光発電施設ゾーニングマップ(案)

保全マップ

導入可能エリアマップ

環境配慮方針案

影響が懸念される主な環境項目	環境配慮方針
パワコンディショナーの騒音	共通・事業計画時に騒音発生範囲を確認し、必要な保全対策を講ずること。
太陽光パネルの反射光	共通・事業計画時に反射光の影響範囲を確認し、必要な保全対策を講ずること。
動植物の生息環境への影響	共通・動植物の生息環境を把握するための必要な調査を実施し、施工・供用に伴う影響を評価すること。 ・生物への影響は、不確実性を伴うため、学識者へのヒアリングを実施すること。
景観への配慮	共通・景観への配慮については、開発候補地から除外すること。その他は、共通事項と同様の配慮を行うこと。
その他(維持管理)	共通・太陽光パネルの設置対策を十分に行った上で、施設及び施設周辺の維持管理を必ず行うこと。
その他(地域住民への説明)	共通・事業計画段階(事業候補)において、土地所有者及び地域関係者への事前説明と確認を行うこと。

その他(維持管理) ・除雪管理や故障時の迅速対応等、施設及び施設周辺の維持管理を必ず行うこと。
その他(地域住民への説明) ・事業計画段階(事業候補)において、土地所有者及び地域関係者への事前説明と確認を行うこと。

アンケート概要 (実施期間: R7.1.16~1.31)

問 1. あなたの年齢について教えてください。

問 2. あなたの性別について教えてください。

問 3. あなたの住まいの字について教えてください。
※答えたくない方は「回答しない」とご記入ください。

問 4. あなたの職業について教えてください。

問 5. 再生可能エネルギー(太陽光、風力など)について、どの程度関心がありますか？

問 6. 再生可能エネルギー施設の設置について、どのようなことを期待しますか？(複数回答可)

問 7. 再生可能エネルギー施設の設置に対して、どのような懸念がありますか？(複数回答可)

問 8. 再生可能エネルギーに関連する事業について、地域住民としてどの程度関わりたいと考えますか？

問 9. 再生可能エネルギーの導入を進めることで、地域にどのような変化が起こると思いますか？(自由記入)

問 10. 今後、再生可能エネルギー(太陽光・風力)の導入が進んでいくにあたり、事業者にご注意してほしい事項等がありますか？(自由記入)

問 11. 和泊町の中で開発を望まない場所がありますか？ある場合はその理由も含めご記入ください。(自由記入)

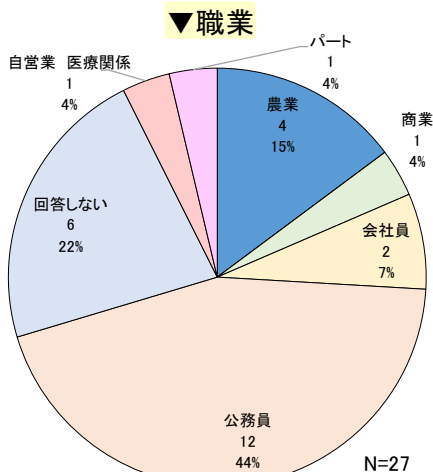
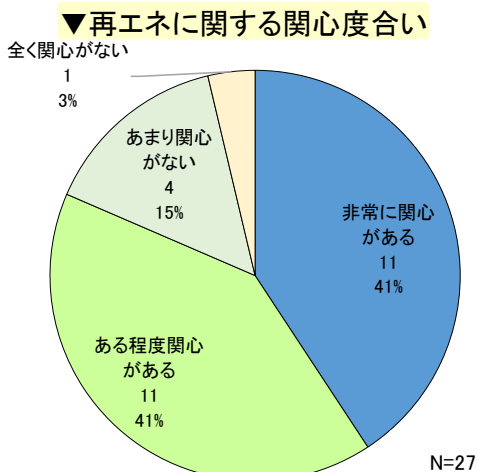
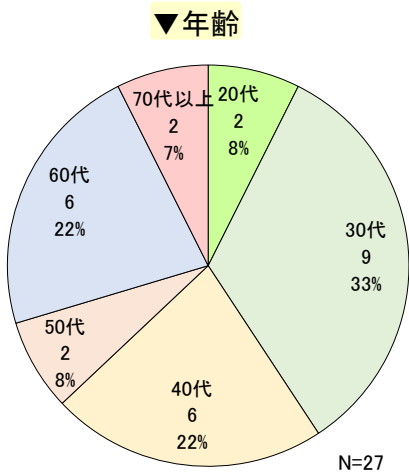
問 12. ゾーニングマップ(案)について、ご意見やご提案があればご記入ください。(自由記入)

5. 意見聴取

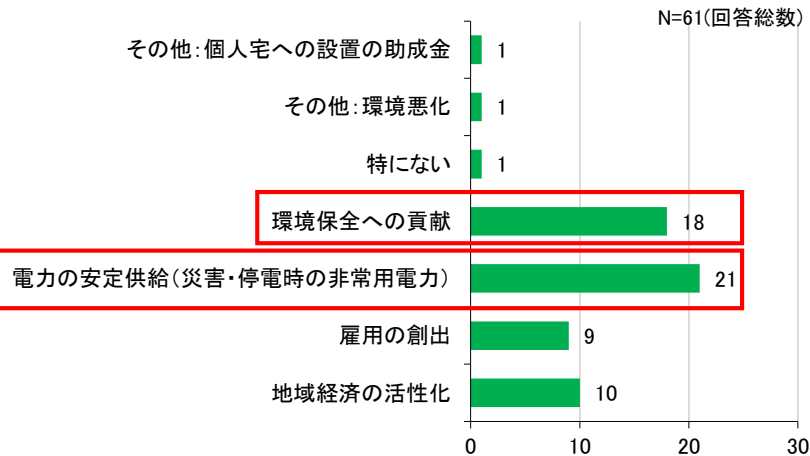
地域住民への意見聴取(住民アンケート調査) 2/3

- 再エネ導入で地域の方が期待することとして、『電力の安定供給』、『環境保全への貢献』等の回答が多く得られました。
- 再エネ導入で懸念する事項として、『施設や周辺の維持管理』、『安全性』等の回答が多く得られました。

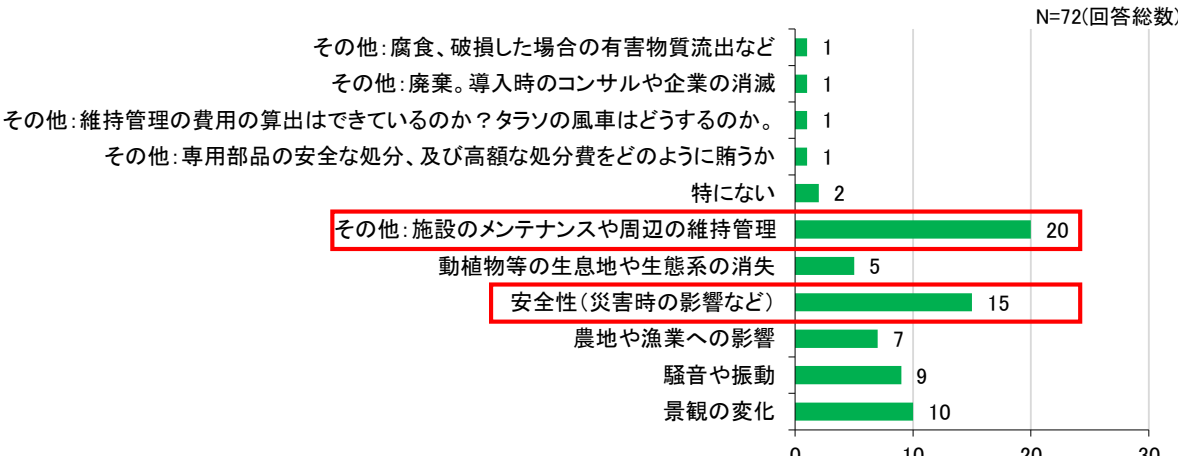
●アンケート対象者:和泊町 地域住民
●実施方法:
町ホームページにおけるWEBアンケート
(LINEによる調査実施の周知)
●実施時期:令和7年1月16日~1月31日
●回答数 :27件



▼再生可能エネルギー施設の設置について期待すること



▼再生可能エネルギー施設の設置について懸念すること



5. 意見聴取

地域住民への意見聴取(住民アンケート調査) 3／3

➤ 和泊町の中で開発を望まない場所としての具体的な意見として、『住居地や学校等(騒音)』、『ワンジョイビーチや越山周辺(景観)』、『基幹産業(農業)への配慮』等が挙がりました。

▼再生可能エネルギーの導入を進めることで、地域にどのような変化が起こると思いますか？
【導入によるメリットに関する意見の抜粋】

- ・災害に強い町になる。
- ・エネルギーの安定供給が図られ、台風時の停電にも安心であり、二酸化炭素を排出せず環境にも優しく地球温暖化を抑えられる。
- ・住民の再生可能エネルギーへの意識や関心が高まる
- ・電気エネルギーの地産地消

▼今後、再生可能エネルギー(太陽光・風力)の導入が進んでいくにあたり、事業者にご注意してほしい事項等がありますか？
【導入によるメリットに関する意見の抜粋】

- ・騒音や震動の影響が極力住民に及ばないよう配慮して工事等を実施すること。
- ・地域住民への説明、安全性や効果についてのわかりやすい表示
- ・長期にわたる安定性(メンテナンス)

▼和泊町の中で開発を望まない場所
【具体的な意見の抜粋】

- ・住居地やこども園・学校等の周辺(騒音や災害時の被害最小化)
- ・ワンジョイビーチなどの景観や自然環境を観光資源としている場所や歴史的な価値を有する場所
- ・北海岸 国立公園地域
- ・越山周辺
(和泊町を一望できる場所であるとともに、戦没者慰霊塔等が建立されており心の拠り所)
- ・農地
(町の基幹産業である農業衰退の原因とならないようにしてほしい)
- ・山林(地すべり等の新たな災害の誘発)

▼その他意見【一部抜粋】

- ・他の情報も記載してオープンデータとして活用できるようにしてほしい。
- ・公式LINE等でアンケート結果を必ず共有してほしい。
- ・休耕地や山林、後継者のいない土地等の活用は考えられないだろうか。

※アンケート結果の詳細は、本事業報告書に記載しております。